

平成20年7月14日

放送コンテスト参加中学校長 様
放送コンテスト担当教諭 様

群馬県小中学校教育研究会
情報教育部会
会 長 小 林 厚 雄

群馬県中学校放送コンテスト兼第25回NHK杯中学校放送コンテスト 群馬県大会結果報告について

平素から本教育研究会の各種事業につきまして、御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、過日申込みいただきました放送コンテスト群馬県大会審査が下記の通り行われ、審査結果が出ましたので、入賞者一覧表・審査講評を送付いたします。後日、発送いたします入賞者への賞状・賞品および参加賞等の該当生徒への配布をよろしくお願いいたします。

記

1, 日 時 平成20年7月8日(火)

2, 会 場 日本放送協会 前橋放送局 会議室

3, 主 催 群馬県小学校中学校教育研究会情報教育部会
NHK前橋放送局 NHKサービスセンター

4, 審査員

《教育研究会》

小林 厚雄(会 長:前橋市立細井小学校長)
生方 徳光(放送担当理事:前橋市立東中学校長)
湯澤 幸男(事務局長:前橋市立二之宮小学校教頭)
後藤 一浩(書 記:渋川市立子持中学校教諭)

《NHK》

嶋村由紀夫(チーフアナウンサー)

5, 参加校一覧

	学校名	顧問名	アナウンス	朗読	テレビ	ラジオ	計
1	新島学園中学校	小宮山 仁	4	1			5
2	伊勢崎市立第二中学校	牧野 佳子		1			1
3	吉岡町立吉岡中学校	岩田 幸恵		7			7
4							0
5							0
6							0
	合 計		4	9	0	0	13

群馬県中学校放送コンテスト兼第25回NHK杯中学校放送コンテスト
群馬県大会結果報告・入賞者一覧

1 アナウンス部門

最優秀賞	矢端 名結	新島学園中学校 3年
優秀賞	中澤 俊達	新島学園中学校 2年
優秀賞	矢野 由桂	新島学園中学校 2年
優秀賞	原 果那恵	新島学園中学校 1年

【最優秀賞・優秀賞作品の上記4名は全国大会へ推薦・出品】

2 朗読部門

優秀賞	細谷 芽	吉岡町立吉岡中学校 3年
	若松 朱里	新島学園中学校 1年
	山口 泰平	伊勢崎市立第二中学校 3年

【優秀賞作品の上記3名は全国大会へ推薦・出品】

3 番組制作(テレビ)部門

応募なし

4 番組制作(ラジオ)部門

応募なし

審査講評

各部門共通（アナウンスメントについて）

例年講評の中で言われていることだが、全体的に文章の読み込み不足がみられ、文を細かく切り過ぎる（句読点以外のところで切りすぎる）傾向が多く、ただ読んでしまっている作品も見られるが、事前に黙読等を繰り返し行うことを通して、意味の解釈・文のつながりの理解を深められている作品もあり、7作品を全国大会に推薦した。

しかし、細かく文を切ってしまうたり、助詞や語尾が伸びてしまう作品がまだある。文の意味・解釈を深めるために、注意深く読み込みを行うとともに、滑舌をはっきりとさせ、助詞や語尾の切り方にも注意して読み込んでほしい。そのために、大きな口を開けしっかりと滑舌や発声の練習をし、本番ではそのテンションを少し下げて、間の取り方や語尾の処理に気を遣うなどを今後の課題にしてほしい。

アナウンス部門について

今回は4作品の出品であったが、どの作品も甲乙つけがたく、声が良く出ており、元気のあるアナウンスであった。アナウンス部門で大切なことは、自分の身の回りの話題を伝えるために自然な感じのアナウンスをすること。朗読との大きな違いは、「いかに自然に伝えるか」というところである。例えば、演劇の台詞のようなアナウンスでは、大げさになり過ぎてしまう。原稿を見て文字を追うと、伝えたいという気持ちからどうしても語調が強くなり過ぎてしまう傾向がある。そうならないために、原稿を見ずに、目の前の相手に語るように練習をするといった事も、アナウンスの練習として取り入れたらどうだろうか。来年度に向けて、さらに練習を積んでくれることを期待する。

朗読部門について

ほとんどの作品の録音状態は良好であったが、もう少し工夫をしてほしい作品も見られた。学校の機材には、どうしても限界があるので、総合教育センターや生涯学習センター等の視聴覚関係の設備がある施設の活用も、1つの方法だと思われる

また、朗読に関する総合的な講評としては、本の中味をよく読んで腑に落としてから、わいてくる情感とその感情を伝えたい、そしてその感情をどう伝えるかという気持ちを持ち大切に、朗読をしてほしい。そもそも朗読とは、読んで自分が気持ちよくなるものではなく聞いてもらうためのもの、作者の考えを自分なりに解釈し、それを聞いてわかるようにその情景や感情などの内容をしっかりと伝えられるかが大切となる。

まだまだ、文章を短く区切って読む傾向が見られたのは、残念であった。朗読の場合、文字を追って読んでしまっただけでは朗読によるよさは伝わらない。いかに繰り返し読み込み、作者の考えや意図を自分なりに理解し、どのように伝えるかということを一層つかんでほしい点である。NHKラジオには朗読番組【「ラジオ文芸館」ラジオ第一 土曜日 22:15 ~ 22:55】があるので参考に聞いてほしい。また、もっと声を出すために、体を使った発声の練習をしてほしい。

応募に関してのお願い

例年、応募に関して全国大会事務局からも通達がきており、本県要項にも謳っておりますが、応募の際には全国大会要項を確認してください。特に、カセットレーベルの作成・添付については、地区名は「群馬」・エントリーナンバーは「無記入」でお願いいたします。

また、録音レベルの低く、せっかくの作品なのに聞き取り難いものもあります。試し録りを行い、録音状態の確認をぜひお願いします。